

令和2年国勢調査 確定値が公表 藤島地域は1万人を下回る

令和2年国勢調査の人口等基本集計(確定値)が11月30日、総務省統計局から公表されました。

令和2年国勢調査 鶴岡市の人口(確定値)

令和2年国勢調査の人口等基本集計結果が公表されました。(令和3年11月30日公表:総務省統計局)
令和2年10月1日現在、鶴岡市の人口は、122,347人、世帯数は45,666世帯で、人口は7,305人の減少、世帯数は327世帯の増加となりました。

	R2国勢調査結果				H27国勢調査結果				増減率(%)			
	世帯数 (世帯)	人口(人)			世帯数 (世帯)	人口(人)			世帯数	人口		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
鶴岡地域	34,862	42,151	45,743	87,894	34,307	43,863	47,955	91,818	1.6%	▲3.9%	▲4.6%	▲4.3%
藤島地域	2,905	4,505	4,967	9,472	2,926	4,851	5,365	10,216	▲0.7%	▲7.1%	▲7.4%	▲7.3%
羽黒地域	2,297	3,811	4,101	7,912	2,287	4,037	4,492	8,529	0.4%	▲5.6%	▲8.7%	▲7.2%
櫛引地域	2,000	3,273	3,599	6,872	1,979	3,460	3,784	7,244	1.1%	▲5.4%	▲4.9%	▲5.1%
朝日地域	1,118	1,797	1,907	3,704	1,190	2,046	2,249	4,295	▲6.1%	▲12.2%	▲15.2%	▲13.8%
温海地域	2,484	3,089	3,404	6,493	2,650	3,504	4,046	7,550	▲6.3%	▲11.8%	▲15.9%	▲14.0%
計	45,666	58,626	63,721	122,347	45,339	61,761	67,891	129,652	0.7%	▲5.1%	▲6.1%	▲5.6%

庄内地方の他市町村については以下のとおりです。

酒田市	39,402	47,838	52,435	100,273	39,320	50,293	55,951	106,244	0.2%	▲4.9%	▲6.3%	▲5.6%
三川町	2,332	3,694	3,907	7,601	2,223	3,715	4,013	7,728	4.9%	▲0.6%	▲2.6%	▲1.6%
庄内町	6,650	9,636	10,515	20,151	6,637	10,255	11,411	21,666	0.2%	▲6.0%	▲7.9%	▲7.0%
遊佐町	4,432	6,189	6,843	13,032	4,509	6,690	7,517	14,207	▲1.7%	▲7.5%	▲9.0%	▲8.3%

なお、詳しくは、政府統計の総合窓口「e-Stat」のページ

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

令和2年10月1日現在の鶴岡市の人口は、12万2347人で、5年前と比べ7305人(▲5.6%)の減少、世帯数は4万5666世帯で、327世帯(0.7%)の増加となりました。旧町村の人口の減少率は、温海▲14.0%、朝日▲13.8%、藤島▲7.3%、羽黒▲7.2%、櫛引▲5.1%です。藤島地域は初めて1万人を下回り、9472人です。人口減少時代に平成大合併を進め、旧町村の住民自治の力を弱めた結果が現れています。櫛引地域を除き、女性の減少率が大きいのが特徴で、その結果、婚姻数や出生数の激減につながっています。女性の域内での進学や就職が課題です。

私の12月8日

鈴木重雄(八色木)

12月に入ると、庄内平野は鉛色の空に覆われる日が多く、人の気持ちまで憂鬱になってくる。

忘れもしない昭和16年(1941)の今日、日本海軍がハワイ真珠湾でアメリカ艦隊を奇襲攻撃し、悲惨な太平洋戦争が始まった日である。

私は小学校高等2年生であった。この日は朝から曇りが小雪に変わり風はないが底冷えする日であった。体操場の南側の教室を挟んで中庭があり、渡り廊下の窓ぎわのモミジの枝に少しづつ積もっている濡れ雪が、今でも心に残る。

まだだそうだ。父親が法務局勤務であったから転勤族であったろう。当時は20歳になると国民の義務である徴兵検査を受け、甲種合格者は兵役が義務である。私のときは戦争も拡大し、兵隊不足のため兵役を20歳から19歳に下げ、それでも足りず18歳以下は強制志願であった。

先生は山形師範(山大教育学部)に入学した。卒業者は兵役を2か月間位で免除されるので、その道を選んだ。先生は容姿端麗であるので甲種合格である。検査官が陸軍か海軍か、どちらを選ぶのかの間に、迷わず海軍と言った。海軍は外国航路があり、外国人と接することが多いので品格が問われる。

日中戦争から太平洋戦争へと、長い戦争体制に入ったのである。体操場にアメリカ艦隊爆撃の写真が貼られ、軍艦マーチが流れ、戦績を誇示していた。

入隊間もない麻生3等水兵は、真珠湾攻撃船団の巡洋艦の乗組員になる。航空母艦や巡洋艦、護衛艦の船団である。奇襲攻撃は成功し長い戦争へと突入した。そして敗戦。退役後は教職に戻り、市内の小中学校長や幼稚園長を歴任した。



あれから80年、この真珠湾攻撃に藤島駅前麻生繁先生が参加されたことを最近知った。先生は故人になられたが、鶴岡市由良の生



麻生繁著「3等水兵真珠湾を攻撃す」参照。年経れば悲惨な戦も薄らげて語り継ぐべき友も鬼籍に重雄

請願「コロナ禍の米価暴落対策」 産建常任委で可否同数、委 員長裁決で不採択

鶴岡市議会12月定例会に出された「コロナ禍による米価下落の対策を求める請願（庄内農民連会長 渡部 正一）が10日、産業建設常任委員会（石塚慶委員長）で審査され、賛成3、反対3で可否同数となり、委員長の反対で不採択になりました。

請願は、米価下落対策として①政府による過剰在庫の買入れ、②生活困窮者や学生への食料支援、③ミニマムアクセス米の輸入中止を求めています。

請願者の発言否決

請願審査では冒頭、共産党の坂本昌栄議員が請願者の発言を求めましたが、採決で可否同数、委員長裁決で否決されました。

紹介議員に対する質疑では、坂本昌栄議員がミニマムアクセス米について質問。

菅井巖議員が「毎年77万トが輸入され、うち主食用が5万ト、加工用が14万ト、飼料用が53万ト、援助用が2万ト、そして在庫が62

万ト積み上がっている。MA米分は、減反が余儀なくされてきた。

MA米の保管や輸送に経費がかかり、世界で飢餓人口が増え、持続可能な社会のために見直しは喫緊の課題だ」と答えました。

草島進一議員がMA米の影響を市当局に質問。市農政課が「主食用米に5万ト販売しており、影響はある」と答えました。

新政クラブの尾形昌彦議員は、「MA米は交渉結果として、米の高関税を認める代わりに、無税の輸入枠を設定したものだ」と質問。

菅井巖議員は「MA米は輸入機会であり、義務ではない。乳製品

などは削減している」と答えました。

政府の立場で発言

討論では、坂本昌栄議員が賛成討論。

尾形昌彦議員が反対討論で、「国の政策は、生産者等が生産調整に取り組むとされている。

政府は、コロナ禍の米価暴落に15万トの特例枠を設定し、需給は改善できる。

MA米は全ての加盟国の合意であり削減は困難だ」と述べました。

新政クラブの議員は、政府の立場で発言し、市民の立場で農業者の苦境を如何に救うかという姿勢が見えませんが、委員会では、賛成は坂本昌栄・草島進一・工藤博司の各議員。

反対は秋葉雄・尾形昌彦・渋谷耕一の各議員でした。

ひと

日下部勇一 (庄内町榎島)

波瀾(乱)万丈の人生

青山 崇

■貧乏生活始まる

父が亡くなり、子育て、家計など全てが母と祖母にかかった。生活保護と母の失対



日下部勇一 小学校4年頃

事業(1946年戦後間もなく多かった失業者救済で制定、1日240円だったため、百円札2枚と十円玉4枚からの造語「ニコヨン」と呼び、やや軽蔑した言い方だった。これだけの収入である。

母の実家、同じ町内の久田集落にあったので「久田(きゅうでん)」と呼んでいた。

私の地域でも親戚は地名や職業で呼んでいる。「北小路」「柳町」、

「県庁」「鉄道」などである。

さて、家には祖母もいた。しかも実家は同じ集落の榎島だったので助かった。祖母が日中は勇一たちを見てくれた。この頃は子どもが多かったため遊び友達に事欠くことはなかった。こんな環境もあつてか、勇一たち3人は大過なく育つたのだらう。

勇一は時々母の実家に泊まった。集落の子どもと遊んだ。卓球、西野堰で川遊びや鯰(なまこ)を捕まえるゴロ探し、隠



少数者だったから

何年か前の話。大工さんの日当が1万5000円と聞いた事が。しかし、親方が社会保険料を払うから云々ということがあつて・・

今は月給制だろうか。日当とは、大工さんが一日働いての手当だ。

▲一日何時間働けば・という事の決まりがないのが、内閣官房参与という役職の日当だ。これが2万6400円だと言つづ。これを貰える人は、東京8区で落選し、比例にも引つ掛かれなかった石原伸晃という、かつて大臣までした人なのだ。

▲先に言ったように、働いた時間には関係ないから早い話、非常勤ながら毎日顔を出しても良いんで、顔を出せば日当が出るんだぜ。観光についての助言が担当といっているが、彼が適任だと思つてい

れんぼである。隠れんぼで溜池に落ち、ずぶ濡れになったことは、忘れられない思い出である。

久田での遊びは中学校まで続いた。久田は第2の故郷になった。

一方榎島でも、勉強は好きでなかったため、朝から晩まで、榎島神社の境内で野球・缶けり・コマ打ち・木登り・隠んぼ。冬は氷が張った田圃でスケート、松山町スキー場と最上川堤防でのスキー、ここでも川に落ちたこともあつた。

る人はいない模様。あまりに暇だろうからと、親友である首相の失業対策というのが真相のようだ。友達とは有難いものですナ。

▲処で、この彼の事務所。コロナで給与の支払いに苦労している店などに国が出す給付金を、60数万円貰つていたというのだ。コロナで利用客が減つて、給与の足しにとの救済制度を政治団体が利用できたんだとは驚きたが、せいじじゃない？

▲給付金の目的は別だと感ずるんだが。これを審査する事務部署では、問題なく該当するという事だったんだナ。

▲で・原稿出来上がりだったんだが、10日に彼は辞任したという報道。しかし、もう一人いたヨ・副大臣つてのが。2人とも金を返す模様だが、これが自民党に大勢いたらどうなつたかネ。(石川)